

○青森市教育委員会 副参事 原子雄治氏

コロナ禍での生活を綴ったという今年でないと書けない作品も見られました。全国コンクールはなくなってしまいましたが、ぜひ全国に送りたいという感動的な作品が多かったように思います。年齢を重ねると家族のことを書くのが照れくさくなる傾向がありますが、作品からは家族を大切に思い、そのために自分が頑張るという意気込みも伝わってきました。作品は書き終えたら、他の人に読んでもらうことで、伝わりにくい部分の確認もできますので、やってみてください。よりよいものになりますよ。